

授業概要

幼稚園や保育園で日常的に行われている音楽表現について、『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の領域「表現」をふまえながら理論的・実践的に理解を深めるとともに、その指導法を修得できるよう講義する。また、子どもの学びの連続性を確保するためには、保幼小連携の視点が大切となる。幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりとして、保幼小連携の在り方についても考える。

授業計画

第 1 回	ガイダンス、世界の音楽教育メソッドについて知る
第 2 回	手で奏でる活動～手あそび・手話の歌
第 3 回	歌う活動①～童謡をア・カペラで 100 曲歌う練習
第 4 回	歌う活動②～歌唱活動における保育者の支援と歌唱指導について（模擬保育に向けて）
第 5 回	身体で奏でる活動～ボディパーカッション・リトミック
第 6 回	身近な音素材を聴く活動①～身の回りの音素材探し（サウンドスケープ）（ICT の活用）
第 7 回	楽器の活動①～楽器あそび・基本奏法、身近な音素材を聴く活動②～音から音楽へ
第 8 回	絵本と音楽①～絵本と音楽の関係について考え、絵本に音・音楽をつける（ICT の活用）
第 9 回	絵本と音楽②～絵本に音・音楽をつけながらの読み聞かせの発表（ICT の活用）
第 10 回	歌う活動④～歌唱指導（模擬保育の発表）
第 11 回	楽器の活動②～太鼓あそび、太鼓の基本奏法（基本リズム）、歌う活動⑤～わらべうたあそび
第 12 回	楽器の活動③～太鼓の合奏演習、創作の活動①～太鼓を用いた創作について知る
第 13 回	創作の活動②～太鼓を用いた作曲を作る
第 14 回	創作の活動③～太鼓を用いた作曲を練る
第 15 回	創作の活動④～太鼓を用いた作曲を完成させる
第 16 回	実技試験～ア・カペラ課題、楽器の基本奏法、創作太鼓の発表

※教室使用の都合で順番が内容の順番が入れ替わる場合があります

到達目標

- ・領域「表現」における音楽表現の扱いについて学び、そのねらいと内容を理解することができる。
- ・子どもの歌 100 曲をア・カペラで歌うことができる能力、幼児が親しみやすい打楽器の奏法技能、即興表現の能力、音・音楽づくり（創作）能力を修得することができる。
- ・想像力と創造力を伸ばすことができる。
- ・世界の音楽教育メソッドについて理解することができる。

履修上の注意

- ・グループやペアなど仲間と協力して音楽づくりを進めること。
- ・積極的に様々な音楽表現を体験すること。
- ・30 分以上の遅刻は欠席扱いとする。
- ・遅刻 3 回で 1 欠席扱いとする。
- ・欠席する場合は事前にメールで連絡をすること。また、証明できるものを添付した欠席届を次の授業の際に提出すること。ただし、欠席届を提出しても出席扱いとなるわけではない。

予習・復習

- ・予習：音楽の各技能の向上を目指すには日々の練習が欠かせない。必ず練習をして授業に臨むこと。
- ・復習：クリアした課題はいつでも演奏できるよう、継続して練習すること。さらに、理論については難しい内容もあるため、授業内で理解できない内容があった場合は積極的に質問し、理解を深めること。

評価方法

実技試験（30%）、模擬保育の発表（15%）、絵本と音楽による表現発表（15%）、レポート（20%）、学習態度・課題提出（20%）

テキスト

- ・教科書名：『保育者のための表現あそび ―音楽・身体・造形のアイデア―』
- ・著 者 名：若谷啓子 編・齊藤淳子・渡辺敏明・桐原礼 著
- ・出版社名：大学図書出版
- ・出 版 年（ISBN）：2023 年（978-4-909655-70-7）
- *その他、適宜、資料を配布する（A4 サイズのファイルなどを準備すること）